

栄光ゼミナール賞
(中学部門)

福井県立高志中学校 3年

清川 きよかわ
藍 あい

今は幸せの充電中。

私の母

大好きな水泳でゴールタッチに失敗し、右手にギプスがついた。泳がないうえ文字が書けず勉強に身が入らない。辛い中でも挑戦した生徒会役員、学級委員、合唱の指揮者、全ての選挙にも落ちた。今おみくじを引けば何回でも「大凶」をひけそう。未来が暗い。

中二から中三の初めにかけて挑戦が報われず絶望する日々が続いた。そんな私に母が言った。「今は幸せの充電中。じっくり幸せをため込んでいるんだよ。」それを聞いた瞬間未来が少し明るくなった。幸せの充電。失敗した時辛い分、幸せな時の幸せが倍になるということらしい。つまり失敗の量に比例して幸せの充電値が上がっていくのだ。私はどんどん失敗し成長していく。目指せ幸せ一〇〇%！

受賞にあたって

小さい頃から父がよく「経験したことは誰にも盗めない。」と言っていました。そのため、水泳やピアノ、英語ディベートなど様々な経験を積んできました。水泳のタッチに失敗して、数カ月泳げず悔しい思いをしました。復帰後には北信越大会で優勝。後期に行われた生徒会選挙では、念願だった副会長に当選することができました。これからも自分の目標に向かって、あきらめずにやり続けながら、「幸せの充電」を蓄えていきたいと思えます。